



ふるさと 水戸 2月

「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

「野球しようぜ」は 『トライしようぜ!』



～水戸小学校に大谷選手のグローブが届きました～

昨年11月、メジャーリーガーの大谷翔平さんが全国約2万校の小学校に3個ずつの野球グラブを寄贈するという報道がありました。そして、2月1日(木)、わたしたちの水戸小学校にもついにそのグローブが届きました。この日の全校集会に合わせてグローブの贈呈とお披露目式を行いました。その様子を湖南省からも松浦教育長を始め5名の方々が参観に来られました。グローブ



グローブの贈呈



グローブを披露します

を使って早速キャッチボール。そして、グローブの全校での使い方や使う順番、ルールについても水戸リーダー委員会の中谷仁紀さん、嶋村心海さんから説明がありました。水戸っ子たちが自分たちでルールを決めていったことが素晴らしいと思います。みんなで大切に使いませんか。

【大谷選手からのメッセージ】



使用方の説明です

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するたろめのもので、この3つのグローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球

こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブをの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。野球しようぜ



大谷翔平

大谷選手は野球というスポーツを通して充実した日々を過ごしておられます。野球だけに限らずいろいろなことで充実した人生を!という願いを感じました。水戸っ子のみなさん、『トライしようぜ!』

びわ湖フローティングスクールに行きました

2/2(金), 3(土), 5年生はびわ湖フローティングスクールに行きました。日本で最も大きい湖である「びわ湖」。滋賀県の面積の6分の1をしめているこの湖での学習です。「びわ湖フローティングスクール」とは、「日本一大きな湖(びわ湖)に浮かぶ学校」という意味です。2年続けての乗船でした。今年は、一泊二日の日程です。

5年生の二日間を写真とともにお知らせします。



早朝からたくさんの水戸小の先生方のお見送りで出発しました。(左)大津港に集合。三雲東小の5年生と合流です。(中)湖岸の人たちに手を振って1日目の出港です。(右)開校式では、山本愛琳さん、堀江真緒さんの挨拶が素晴らしかったです。



(左)4回の食事で、配膳、後片付けと食事係は大活躍です。(中)びわ湖の水位の関係で、ウォークラリーが大津港周辺となりました。1時間で完了のタイムとクイズで競いました。ゴール後は自分たちで整列もできてバッチリでした！(右)タバの集いはつなひきとポッチャを入れ替え制で実施しました。とっても盛り上がり、三雲東小ともよい交流ができました。

この後、就寝でしたがすぐに寝られたかな・・・

今回は1日目でした。意欲的な取組の姿勢が素晴らしかったです。次回は、2日目をお知らせします。



2年続けてフローティングスクールに参加させていただきました。今年は、「湖の子」で初めての宿泊を体験しました。BI階に泊まったのですが、この階は湖面より下位になるので、児童の宿泊等は不可ということでした。少し微妙な気持ちもありましたが、船内泊は楽しかったです。数時間の睡眠でしたが、温かく静かでした。波に揺られている感覚もありました。早朝に子供たちの宿泊室を見に行くと、多くの先生方が児童管理をしておられました。本当に感謝です。健康で安全な活動は、こうした支えがあってのことです。中学校の修学旅行の時、就寝指導をしてろう下で学級通信を書いていたことを思い出しました。(山田)